



2024年4月10日

## 株式会社アイム・ユニバース向け 「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2024年3月29日（金）、株式会社アイム・ユニバース（代表取締役 藍川 眞樹）に対して、「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」を実行しましたのでお知らせします。

ポジティブインパクトファイナンスとは、「事業者さまの営業活動」が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブならびにネガティブな影響）を特定・評価し、ネガティブな効果を緩和しながらポジティブな効果を増大させることで、SDGsの達成を目指す融資手法です。

融資検討時に実施する評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまのKPI（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見<sup>※1</sup>を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)<sup>※2</sup>の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、地域の社会的課題解決に貢献するなど社会的価値を提供し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指します。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見  
株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 (<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

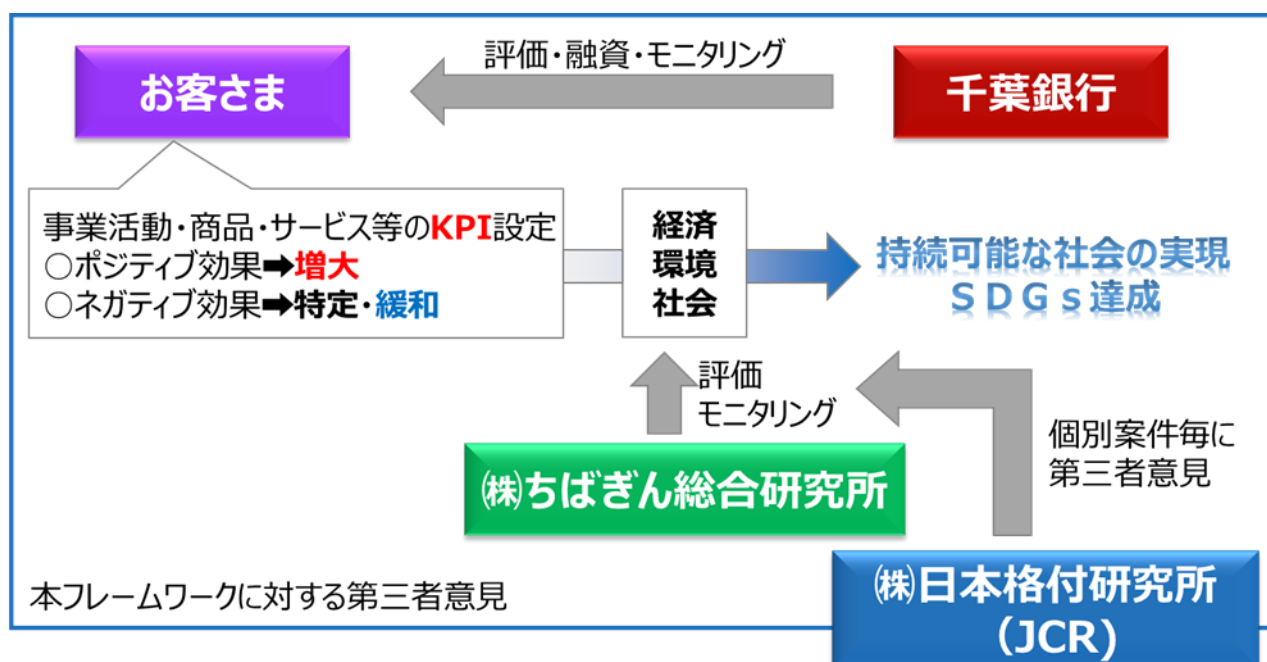
※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織。

以 上

### 【株式会社アイム・ユニバースについて】

東京本社をはじめ埼玉県、千葉県、福岡県、沖縄県に5カ所の営業拠点と2カ所の展示場を構える総合ディベロップメント企業です。リゾートのような特別な時間が過ごせる家をコンセプトとする「&RESORT HOUSE」を主力商品として、デザイン性と機能性、耐久性を兼ね備えた高級感ある住空間の供給を通じて成長を続けています。「世の為人の為になるものを世の中に創造する」を企業理念に掲げて、先進性を備えた付加価値の高い住宅と最高のサービスの提供に努めています。

### ＜スキーム図＞



### 【ちばぎんポジティブインパクトファイナンスの商品概要】

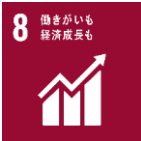


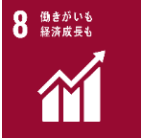

融資対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDGsの達成に向けて活動する法人
資金用途	運転資金または設備資金（特定の資金用途に限定しません）
融資金額	100百万円以上
融資利率	当行所定利率
融資期間	原則、3年以上
K P I (目標)	SDGs達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてKPIを設定していただきます。 (1) 1つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2) 潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

## 【株式会社アイム・ユニバース向け「ちばぎんポジティブインパクトファイナンス」の概要】

貸 出 先	株式会社アイム・ユニバース		
契 約 締 結 日	2024年3月29日(金)		
融 資 形 態	証書貸付		
融 資 金 額 (使 途)	200百万円(運転資金)		
融 資 期 間	5年		
評 価 内 容	領 域 (テーマ)	取組内容およびK P I (目標)	関連するSDG s
	社 会 (住居、保健・衛生、教育、雇用、エネルギー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2029年3月末までに、ベストバリューホーム<sup>※3</sup>の年間販売件数300件を達成する</li> <li>加盟工務店の施工物件における重大な労働災害の発生件数を毎年度0件を継続する</li> <li>2029年3月末までに、グループ全体における各資格ごとの取得者数目標を達成する <ul style="list-style-type: none"> <li>①宅地建物取引士：18名</li> <li>②一級建築士：5名</li> <li>③二級建築士：10名</li> <li>④一級建築施工管理技士：10名</li> <li>⑤二級建築施工管理技士：5名</li> <li>⑥一級土木施工管理技士：5名</li> <li>⑦二級土木施工管理技士：3名</li> </ul> </li> <li>2029年3月末までに、平均有給取得日数を10日以上とする</li> <li>2029年3月末までに、Z E H<sup>※4</sup>の年間販売件数を、埼玉県内10件以上、千葉県内5件以上、神奈川県内2件以上とする</li> <li>2029年3月末までに、E V充電設備の年間設置件数300件を達成する</li> </ul>	       
	環 境 (気候)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2029年3月末までに、環境配慮型車両の保有台数を25台以上とする</li> </ul>	

※3 一般社団法人長寿命住宅普及協会による認定制度。高品質につくられ確実にメンテナンスした建物を適正に保証する事で、建物の資産価値が継続する仕組み。

※4 ZEHとはNet Zero Energy House(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略で、太陽光発電による電力創出・省エネルギー設備の導入・外皮の高断熱利用などにより、生活で消費するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅のことをいう。

	領域 (テーマ)	取組内容およびKPI (目標)	関連するSDGs
評価内容	経済 (経済収束)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2029年3月末までに、安全衛生協力会の会員数100社以上を達成する</li> </ul>	 
	社会・経済 (包摂的で健全な経済)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2029年3月末までに、アトム・ユニバース及びアトム・ユニバース建設の全従業員に占める女性(正社員)の雇用割合40.0%を達成する</li> <li>2029年3月末までに、アトム・ユニバース及びアトム・ユニバース建設の外国人(正社員)の雇用数を10名以上にする</li> <li>2029年3月末までに、グループ全体の男性育児休業取得率80.0%を達成する</li> </ul>	  
その他	<p>上記KPIについては千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年1回モニタリングを行うことで、融資実行後も貸出先の伴走支援を行ってまいります。</p>		